

Air ソーラーの量産化・市場形成を支援します！

～Air ソーラー量産化・市場形成促進事業のお知らせ～

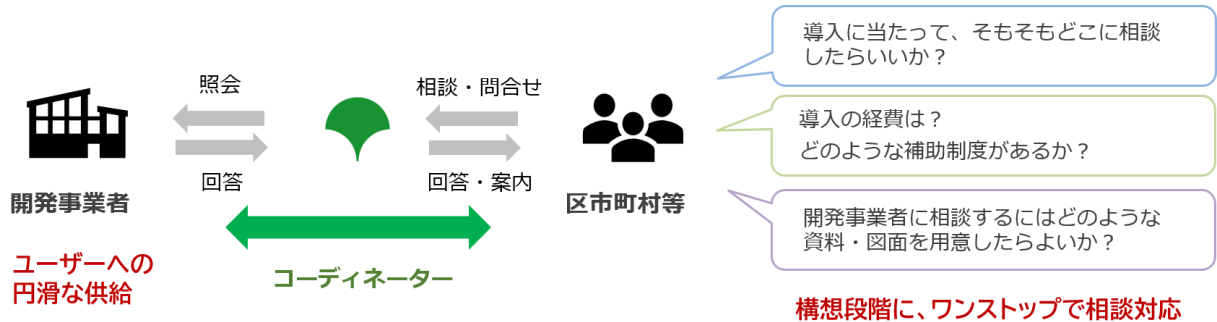
東京都は、「薄く、軽く、曲がる」という特徴を持った日本生まれの太陽電池である「Air ソーラー※」の普及拡大に向け、「2035 年における都内導入目標約 1 GW」を掲げています。

Air ソーラーの量産化と市場形成を促進させるため、新たに開発事業者と区市町村・民間事業者等をつなぐコーディネーターを設置するとともに、Air ソーラーの開発事業者の国内外展示会への出展に係る費用の助成を開始します。

■ Air ソーラー量産化・市場形成促進事業

コーディネーターを設置し、Air ソーラーの導入を検討する区市町村や民間事業者等への各種支援、開発事業者とのマッチング支援を行います。

(1) 事業スキーム



(2) コーディネーター受託者

(公財) 東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター (クール・ネット東京)

(3) 支援内容

Air ソーラー導入に関する相談対応、案件形成のためのマッチング支援等

(4) 事業HP

<https://www.tokyo-co2down.jp/action/business/airsolar-ryousan/>



■ Air ソーラー展示会出展支援事業

Air ソーラーの開発事業者に対して、国内外展示会における Air ソーラーに係る出展を支援することで、事業者による製品技術のPRや販路開拓を後押しします。

(1) 助成対象事業者

Air ソーラーを開発する民間事業者等

(2) 助成額

Air ソーラーを主たる展示内容とした展示会出展に要する経費（展示会等参加費、販売促進費）の10分の10の額

(上限額：300万円)

(3) 主な助成要件

- ・都内での Air ソーラーの導入若しくは実証の実績があること又は都内での Air ソーラーの導入若しくは実証を計画していること
- ・展示会出展に当たり、Air ソーラーに関する都の広報活動に協力することができること。
- ・条件を満たす国内展示会又は海外展示会に出展すること（条件の詳細は事業HPを参照）

(4) 申請受付期間

令和 8 年 10 月 29 日（木曜日）から令和 9 年 3 月 31 日（水曜日）まで（申請総額が予算額に達した時点で終了）

(5) 事業期間

令和 8 年度及び令和 9 年度

(6) 予算額

1,500 万円

(7) 申請受付窓口

（公財）東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）

(8) 事業HP

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/airsolar-tenji/>



※Air ソーラーについて

ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を用いた太陽電池です。

シリコン系太陽電池に比べ、以下の特徴を有し、シリコン系太陽電池に対して高い競争力が期待されています。

- ①「薄く軽くフレキシブル」であるため、設置対象の場所の範囲が広がる
- ②製造技術開発によって大量生産、製造コストの低下の可能性が有る
- ③日本発の技術であるほか、主原料のヨウ素は、世界産出量の約 30%が日本国内産である

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。
戦略 20 ゼロエミッション「再生可能エネルギーの基幹エネルギー化」



▲2050 東京戦略

2050東京戦略
～東京 もっとよくなる～

【問い合わせ先】

＜制度について＞

東京都環境局気候変動対策部
計画課
TEL：03-5388-3524

＜申請受付について＞

公益財団法人東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター
（クール・ネット東京）
TEL：03-6258-5313